



# 校長室だより 2

黒部市立萩生小学校  
文責：校長 寺島紀子  
令和6年1月18日  
5年度第29号

去る11日(木)に6年教室で行われた租税教室では、(公社)魚津法人会の岡島先生に税金の大切さやその使われ方等について教わりました。小学校から高校まで、子供一人に対して1500万円近くもの税金が使われると聞いて、子供たちは驚いていました。また、重さ10kgもある1億円の札塊(もちろんレプリカですが)を手を持たせてもらう時間もありました。社会科の時間にすでに学習した税のことについて復習するよい機会となりました。



## 第2回校長杯短歌大会を行いました

今回は2学期末に作品募集を開始し、1月10日(水)に締め切りました。冬休みを利用して家族ぐるみで作歌に取り組んだご家庭もあったかと思います。ご協力ありがとうございました。児童と教職員合わせて75首の歌が集まり、11日(木)の朝の時間に全校で選歌・投票を行いました。各々よいと思う歌を5首選び、歌番号を書いて投票しました(151名×5=755票)。互選の結果は翌12日(金)のランチルームで発表しました。



- 天位 ばあばからお年玉をもらったよ はさみで切ったらおさつも切れた (2年 O・Tさん)  
 地位 ピピピピもう少しだけピピピピ ギリまだいける やばっ!ちこくだ (6年 S・Sさん)  
 年始め地震一発ア一恐ろしや 揺れにも負けず今年も進む (職員室 芦崎先生)  
 人位 ねぼうしたろう下をダッシュおこられた 早起きできずに今日もねぼうだ (5年 I・Kさん)  
 百円を払って手を入れざさごと 君に決めたと結果は中吉 (職員室 高松先生)  
 書き初めで一番うまくできたのがぼくじゅうたれてああいなしだ (3年 A・Aさん)

この6首のほか、得票の多かった歌を「佳作」9首、「入選」13首としました。また、互選の得票数は伸びなかったものの、校長が「上手い!面白い!」と思った歌3首を「校長賞」として発表しました。すべての入賞者の発表を行った後に皆で拍手をしました。



作者の名前を伏せて投票し合うことで、「この歌は誰が作ったのかな?」と予想する楽しみもあったかと思います。作者名が分かった瞬間にランチルーム内がどよめく瞬間もありました。1年生から6年生、そして大人まで、短歌を通じて皆でお互いのことを知り楽しむいい機会になっているはず、と手前味噌ながら思っています。

## ★元日の地震のことを歌った歌もありました

- ・お正月じしんがおきたたいへんだ みんなでいっしょにうなづきにげた (2年 T・Sさん)
- ・今年ね毎年楽しい元日が不安だよう ぐらぐらゆれて (5年 N・Rさん)
- ・きゅうにきたこわいよこわい大じしん みんなかたよせあんしんしたよ (2年 O・Rさん)
- ・かんこくに行ってよかったでも地しん ただいましてらビッグびっくり (職員室 ザンダー先生)
- ・元日に大きな地しんおどろいた かくにんしよう防災グッズ (4年 H・Hさん)

今回、地震の歌が全部で12首ありました。黒部市の被害は比較的大きくなかったとはいえ、初詣や市外の外出先で地震にあうなど、子供たちにとって大きな出来事だったのだと改めて思いました。

嬉しいことや楽しいことだけでなく、ドキッとしたこと、悲しかったことなど、心が強く動いた出来事を言葉で表現することで、自分の気持ちや記憶を客観的に捉え直し、整理することができると思います。日記や作文、詩や短歌等々、自分に合った方法でその時々思いを表現し、モヤモヤと抱え込んでいるストレスの軽減にもつなげてほしいと思っています。

★この「校長室だより」のカラー版は本校ホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

## 冬には冬の楽しみを

17日(水)の朝は本当に寒い朝でしたね。校門付近では、登校中に見つけた氷を見せてくれる子供たちがいました。水たまりの氷の滑り具合を恐る恐る確かめたり、靴のかかとでわざと割ってみたりと、それぞれの楽しみ方があります。元気な子供はどんなときでも遊ぶ気まんまんです。

休み時間には校内のあちこちで縄跳び練習をする子供たちの姿も見かけます。天気の悪い日も運動に親しんでほしいと思います。



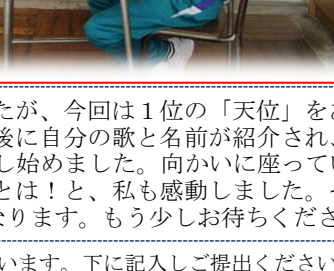
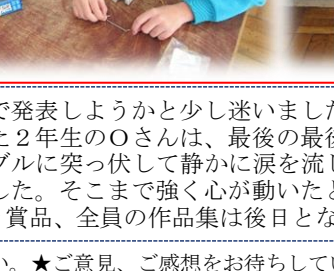
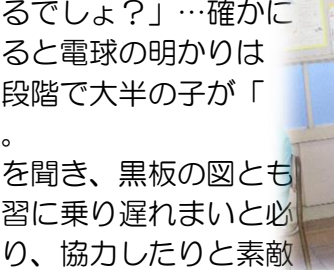
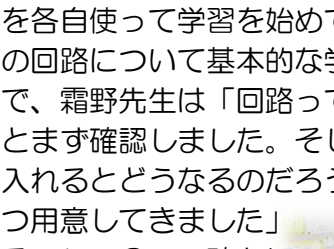
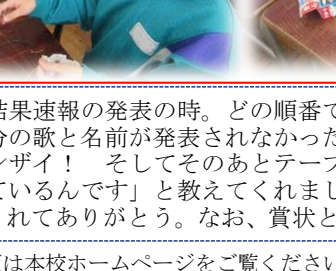
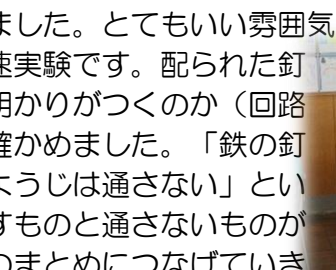
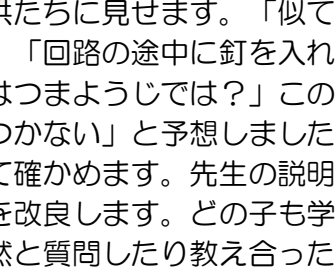
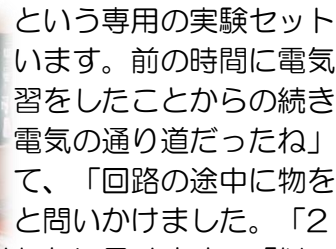
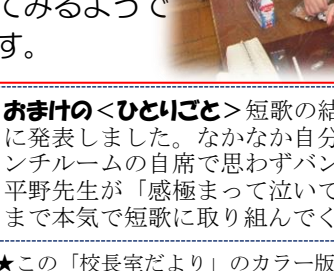
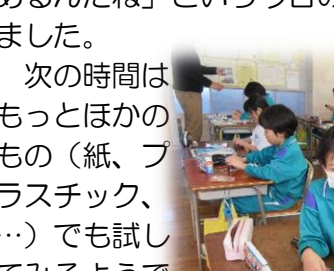
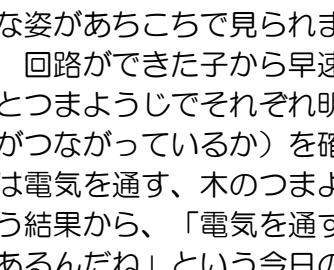
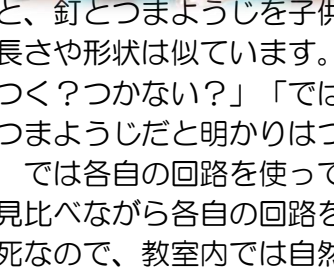
## シリーズ「教室におじゃまします」1/17(水)3年理科の巻

3年生では電気の通り道の学習をします。今回は「あかりをつけようホテル」という専用の実験セットを各自使って学習を始めています。前の時間に電気の回路について基本的な学習をしたことからの続きで、霜野先生は「回路って電気の通り道だったね」とまず確認しました。そして、「回路の途中に物を入れるとどうなるのだろう」と問いかけました。「2つ用意してきました」と、釘とつまようじを子供たちに見せます。「似てるでしょ？」…確かに長さや形状は似ています。「回路の途中に釘を入れると電球の明かりはつく？つかない？」「ではつまようじでは？」この段階で大半の子が「つまようじだと明かりはつかない」と予想しました。

では各自の回路を使って確かめます。先生の説明を聞き、黒板の図とも見比べながら各自の回路を改良します。どの子も学習に乗り遅れまいと必死なので、教室内では自然と質問したり教え合ったり、協力したりと素敵な姿があちこちで見られました。とてもいい雰囲気でした。

回路ができた子から早速実験です。配られた釘とつまようじでそれぞれ明かりがつくのか(回路がつながっているか)を確かめました。「鉄の釘は電気を通す、木のつまようじは通さない」という結果から、「電気を通すものと通さないものがあるんだね」という今日のまとめにつなげていきました。

次の時間はもっとほかのもの(紙、プラスチック、…)でも試してみるようです。



**おまけの<ひとごと>** 短歌の結果速報の発表の時。どの順番で発表しようかと少し迷いましたが、今回は1位の「天位」をあとに発表しました。なかなか自分の歌と名前が発表されなかった2年生のOさんは、最後の最後に自分の歌と名前が紹介され、ランクルームの自席で思わずバンザイ！そしてそのあとテーブルに突っ伏して静かに涙を流し始めました。向かいに座っていた平野先生が「感極まって泣いているんです」と教えてくれました。そこまで強く心が動いたとは！と、私も感動しました。そこまで本気で短歌に取り組んでくれてありがとう。なお、賞状と賞品、全員の作品集は後日となります。もう少しお待ちください。

★この「校長室だより」のカラー版は本校ホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。